



大阪機械卸業団地協同組合

(東大阪市)

<h2>クラウドを活用した機械工具入札会の新電子入札システム構築</h2> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の出品情報の判りやすい表示 ○ 利用者（取引メーカー）のアクセス（売れ筋情報）・入札情報等の収集・分析・解析機能 ○ データのバックアップ体制の強化 	<h3>組合基本情報</h3> <p>所在地 大阪府東大阪市内庄西2-5-10 URL http://www.omdc.or.jp/ 電話/FAX 06-6747-7521 06-6747-7525 代表者 理事長 川上 佳夫 設立 1968年 出資金 599万円 組合員数 100人</p> 
<h3>組合概要</h3> <ul style="list-style-type: none"> * 組合は、工作機械・機械工具の卸売業者が構成員。 * 1968年に、東大阪に卸機能を集中化した流通業務団地という特性を活かし、事業の共同化を通じて組合員の経営の合理化・近代化など抜本的な体質改善を図ることを目的に、大阪府の認可を受けて設立。 * 設立以来、主な事業として「機械工具入札会」、ガソリン共同購買などの共同事業、福利厚生事業、教育・情報提供事業などを行い、組合員の経営の合理化・近代化等に重要な役割を担っている。 	
<h3>キラリと光る取組の内容</h3> <p>当組合の主力事業である「機械工具入札会」は、毎年4回開催され、来場者数2千人超、落札（売上）1億円超、出品点数も3千点近くとなっているが、「出品場所が分かりにくい」、「商品が見つかり難い」、「ユーザーアクセス情報の解析ができていない」、「大規模災害や障害が発生したときのセキュリティ対策が取れていない」などの課題があった。</p> <p>組合では、これらの課題解決のため、クラウド上にログ解析、集計機能、可視化機能、学習機能、大規模容量対応バックアップ機能等新たな機能を追加し、機械工具入札会の新電子入札システム構築を行った。追加された機能として主なものは以下の3点である。</p> <p>クラウドを活用した新たな電子入札システムは、組合員の営業力並びに業績向上に大きく貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組合員の出品情報の判りやすい表示 組合員の出品情報を「ジャンル別表示」「出品位置情報」として判りやすい画面表示にした。 ● 利用者（取引メーカー）のアクセス・入札情報等の収集・分析・解析 利用者（取引メーカー）がアクセスした内容について収集・分析、可視化が可能となった。また利用者へはアクセスデータを元に嗜好にあった情報、組合員へは入札率予想等、落札（売上）に結びつく情報の提供が可能となった。 ● データのバックアップ体制の強化 大規模災害や障害が発生したときのセキュリティ対策として大規模データのバックアップが可能となった。 	
<p style="text-align: center;">組合会館</p> 	<p style="text-align: center;">入札会場風景</p> 